

# 議 事 録

会議案件： 第一回 大岡川親水施設に関する「利用調整等に係る検討会」
開催日時： 2016年3月22日（火）19:00～21:20
開催場所： 日ノ出町町内会館
出席者：（敬称略）神奈川県横浜川崎治水事務所（林、井川、土方） 横浜市都市整備局都心再生課（渡辺、遠藤、大串） 一般社団法人大岡川川の駅運営委員会 理事（小林、永井、松田、萩生田、鈴木(記)）、 事務局（菅原、高木）、監事（佐々木、高橋）、社員（鈴木）、 会員（桜栈橋 E ボート倶楽部（萩生田）、水辺荘（山崎）、横浜 SUP 倶楽部（柿澤）、横浜シーフレンズ（畝原）、日ノ出町町内会（佐々木）、大岡川桜まつり実行委員会（松田）、NPO 濱橋会（小林）、(株)東京ベイガード（永井）、京浜フェリーボート(株)（田代）、(株)KMC（永井）、(有)UYフラッグ（上野）
欠席：理事長（伊藤）、特別顧問（藤木）、顧問（一ノ瀬）、理事（成岡）、野毛地区振興事業協同組合、ナカムラクラブ、Studio Tsukada、

文責 鈴木謙太郎

## 議題と議論内容

### 1. 利用調整に係る検討会の趣旨

横浜市：遠藤（日ノ出栈橋・桜栈橋の利用調整に関して）課題抽出をし、今後の対応を運営委員会会員・事務局・行政といった関係者が対等な位置から検討していきたい。

横浜市：大串 社会実験概要 趣旨説明

### 2. 大岡川川の駅運営委員会からの報告

事務局：菅原 活動報告、入出金の状況等、ホームページに随時活動をアップする。

今後は、横浜 SUP 倶楽部等、栈橋を使うみなさんからの栈橋実績報告書を作成したい。

県治水：井川 栈橋の損壊状況などについての緊急連絡先検討についての言及

### 3. 日ノ出棧橋・桜棧橋の利用規程、および申し込み方法について

横浜市：大串 棧橋の利用規程について

#### 議題①)棧橋の利用時間について

<結論> 夜間利用等の棧橋利用時間変更は、今後も検討

<経緯>

京浜フェリー：田代 夜間でも着岸は可能。

ケーエムシー：永井 小型船なので困る暗さでは無い。が、決まった航路で定期運行すると、照度の規程がある。それに見合った照明が必要になるのでは。

<備考>

県治水：土方 (桜祭りなど、予約が立て込んだときの台船等の棧橋利用等について) 危ない、困ったといったヒヤリハットがあったら、後日でかまわないので教えてほしい。今回の利用ルールがどこまで有効か知りたい。

#### 議題②)日ノ出棧橋の営業船利用の一回の係留時間

<結論> しばらく現状を当面継続。

#### 議題③)日ノ出棧橋の営業船以外の一時利用の一回の係留時間

<結論> 現状を当面継続。現在、該当する船の利用はないが。

#### 議題④)親水広場の利用時間

<結論> 現在の規程を当面継続。

事務局：菅原) 棧橋の申し込み方法について制限あり、今後改善予定。

#### 議題①)日ノ出棧橋の営業船利用申し込み開始時期

<結論> 現状を当面継続。

#### 議題②)日ノ出棧橋の営業船以外の利用申し込み開始時期

<結論> 今後の様子を見たい。

#### 議題③)桜棧橋の利用申し込み開始時期

<結論> 現状を当面継続したい。

<備考>

SUP 倶楽部：柿澤 できるなら、三ヶ月前の方が助かる。

事務局：菅原) SUP 倶楽部へは、大型行事の関わりも多く個別に対応している。

(他も対応可能なので、連絡を貰いたい。)

#### 4. 今後の親水施設の運営方法・体制について

横浜市：遠藤 日ノ出棧橋・桜棧橋について

##### ◇親水施設の照明設備・常設の独自電源について質疑。

日ノ出町：佐々木 施設利用の長期的ビジョンにもとづく計画はあるか。東京五輪もにらみ、営業船の定期運行ができる態勢を整えるためには利用度を高めたいところだが。照明施設と電源がないことがネックになっている。

県治水：井川 現状で、その点についての長期的な計画はない。課題を抽出しており、やり方を含めて現在検討している。電気は誰が負担するのかといった議論が避けて通れない。バランスよく議論する必要がある。

通年で実際どれだけ使うかを把握し、計画を作った上でハード面の施策をうつかソフト面での対策にするかを決めるべきかと考える。

事務局：菅原 電源については、段階的に進めていければと思っている。現状は駅前商店会から電源をお借りし、電気代は運営委員会で支払う方向で検討している。使用データをとる予定であり、そこから県や市にも検討を進めてもらいたい。電源の本格的な実装はまだ先の話で、やれるところまでやるしかないと考えている。

横浜市：渡邊 水上交通は五輪までに間に合えばいいが、観光客が必要としているか、民間業者が入って事業的に採算が取れるかどうかといった課題はたくさんある。これまで社会実験を三年間やってきたが、採算はかなり厳しい。どのような形でやるか、検討を進める必要がある。また、費用負担に関して防犯・安全なら公共もありうるが、にぎわいなら受益者負担となる。現状では、どちらとするか決着がつかない。

濱橋会：小林 今後の利用を考えていくなら、商売的に使いやすい施設を作るのも大切。親水広場の電源はイベント開催等の観点からどうしても欲しいと考える。

県治水：井川 今後の課題ではないか。恒久的なものか、仮設的なものかで扱いが違う。先に施設ありきではなく、将来的なビジョンを整理してからではないかと考える。現状では、電氣的な設備をつけるなら安全性を確認しながら進めたい。

横浜市：遠藤 電源については継続して議論したい。

## ◇棧橋清掃活動について提案と議論

※「清掃部会」立ち上げの提案あり。

SUP：柿沢) 桜棧橋はこまめに清掃しないとゴミだらけになる。今までは清掃を自主的にやっていたが、一般社団法人社員としての立場で任せていただければ、SUP 倶楽部としてその形式で清掃活動をやることはできる。※ゴミの発生について……一回の回収イベントで30～40<sup>キ</sup>ほど拾っている。定常的に打ち上がるゴミは半月一度の活動ぐらいで、ゴミ一袋の半分ぐらい。

事務局：高木) 運営委員会で「清掃部会」を立ち上げて、部会長を SUP 倶楽部柿沢氏にお願いするのはどうか。そうであれば、清掃活動に予算を立てることもできるのでは。

水辺荘：山崎) 日ノ出棧橋の清掃活動に参加したい。部会がありうるなら、清掃日を設けてもらった方が活動しやすい。検討いただきたい。

理事：小林) 部会を作るのは、ぜひお願いしたい。理事長が休みなのですぐにとはいえないが、SUP 倶楽部や水辺荘を含めた組織的な清掃活動をお願いしたい。予算・経費を委員会で県・市と話しながら出していくのは当たり前ではないか。理事会で、事務局からの提案としてみなさんに話してみる。次に、予算の出所を考えるのが手順だろうか。

県治水：井川) 蒔田公園などでは、川に捨てている。蒔田公園・夢ロードの清掃については河川管理者としての思い切った取り組みを、地域活動に資する方向で考えたい。夢ロードはゴミをどう解決するかまだ決していない。予算の出し方にも課題が多く、まずは情報交換から始めていきたい。

## 5. 安全航行ルールについて

※ライフジャケット等、ルール追加検討の議論あり。

事務局：菅原) 安全運行ルールについては、**関連各団体や利用する民間企業へも配布をお願いしたい。**また、**国交省からも利用して良い船のサイズなどについて質問がきているので、今後追記していけたら良いと思う。**

SUP：柿沢) **棧橋での飲酒、飲食についての記述。**また、**ライフジャケットの着用を啓蒙していきたい。**

事務局：高木) 棧橋内の事故については、**こういうことが起こりうる、と注意喚起が必要では。**

横浜市：遠藤) **運用ルールに「～ライフジャケット『等』を着用するなど安全措置を講じてほしい～」などと記載するべきか？**「危険ですので、利用者以外は入らないようにしてください」といった文言か。管理責任から賠償責任といった点を考えると、利用者の自己責任であることを示したい。子供については、わかりやすい表示を心がけたい。

理事：小林) **子供が溺れてしまう絵などを掲示する？ライフジャケット等の記載を増やし、ホームページで公開するのはどうか。**また、左舷着岸でクレームもある、棧橋の離発着に気をつけてもらいたい。

事務局：高木) **大岡川の初心者は、水深などの感覚がわからない人もいる。ガイドに載せられた方がいい。**航行の仕方で、安全上の配慮をお願いする（記述についての検討を横浜市とで行う）。

## 6. その他

### 1) 浚渫計画について

県治水：井川 大岡川の浚渫を、5月下旬に予定している。中村川上流の一番浅いところ、航路を掘る。基本的には船が通ることができるようになる。作業は一～二週間を予定。日ノ出棧橋上流側も部分的に浚渫したいので、イベントがあるならご連絡願いたい。

### 2) 関内関外活性化協議会河川部会との連携について

横浜市：渡辺 河川部会の今年度及び来年度の取組について説明。来年度は中村川の親水施設整備の検討や(社)大岡川川の駅運営委員会との連携強化等を進める予定。今後は、河川部会も参加した意見交換等を実施していきたい。

### 3) 堀割川の親水施設整備について

県治水：井川 八幡橋下流、堀割川に防災的利用をうたって親水施設設備の計画がある。地質調査を行う予定で、具体的には来年度以降。大岡川での地元主体の維持管理を参考にし、検討していく。

横浜市：遠藤 運営していく中で課題も出てくると思われるが、こういう場を通じて建設的議論をしていきたい。

以上



2016年3月22日 日ノ出町町内会館にて開催